

伊賀市社会事業協会 2017

2017年3月1日 第34号
発行 者
社会福祉法人伊賀市社会事業協会
理事長 赤 澤 行 宏
〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2
TEL:0595-21-5545
FAX:0595-23-6670
URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

紙一重の世界

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

名誉顧問 森 下 達 也

「ファミリーヒストリー」という週一回のテレビ番組がある。ご存じの方も多いだろう。NHKが、多彩な顔触れの中の一ひとり「某氏」を対象に、その個人的ルーツを追跡し調べ上げ、一時間くらいの番組にまとめるのである。自分の先祖代々の系譜や事蹟を殆ど知らなかった某氏も、番組が進行するにつれ、不可思議な感動に圧倒され涙することになる。仮の例えであるが、もし、結婚前の曾祖父が旅順二〇三高地の死闘から生還していなかったとしたら、もし、若き日の祖父母が結ばれることになった祭りの日の偶然の出会いがなかったら、もし、負傷して陸軍病院に入院した父がやがて妻となるナースに出会っていなかったら、もし、母が幼い私を背負って焼夷弾の降りそそぐ炎の街から脱出出来なかったとしたら、今ここに自分は存在していないという当然のことを某氏は知らされる。つまり、紙一重でつながった命の連鎖の先端に、奇跡のように自分が存在していることを再認識し、大切に生きなければと心に刻むのであろう。

昨年の大河ドラマは「真田丸」。まだその余韻にひたっている人も少なくない。歴史の筋書はわかっているのに、幸村が勝つことを心の何処かで期待しているから、可笑しなものだ。兎にも角にもこのドラマは、家康の圧勝と決めつけてはいないのである。石橋を叩いて渡るのが家康というが、所どころ際疾い橋を渡っているようにも思える構成である。然う、関ヶ原では東軍と西軍に然程の戦力の開きはなかったのだ。もし、石田治部少輔三成という優秀な官僚にあと少しの説得力があったら、もし、小早川秀秋なる小わっぱの裏切りがなかったら、西軍の大勝利になっていたかもしれない。後年の大坂城防衛戦でも、好青年秀頼が先頭に立って全軍を鼓舞していたら、結果は違っていたかもしれないのである。「たらたらたら」の戯れ言と嗤うなかれ、私たちが今歩

ている世界を一枚の紙の表とすれば、その裏には生死さえ逆転する世界が何時も待ちかまえており、その紙は少しの風でたちまち翻ることを、昭和の動乱からもう学んだのではないか。

「追憶は若き学徒を見送りし神宮外苑の雨の靴音」私の敬愛する先輩青木綾子氏の、胸にせまる回想の一首である。先輩と申し上げたが、若々しく活躍される現役の書道家であることを申し添える。昭和十八年、戦況が悪化をたどる中で学徒の徴兵猶予が停止され、学業半ばの若者の多くの命が消えた。七十余年前の雨の神宮外苑壮行式から、時空を超えて悲しい靴音が聞こえてくるようではないか。往時私たちが聞かされたのは、「南方資源への生命線を守りぬかなければ日本に未来はない」という叱咤激励であった。憶えば、多くの若者の人生を南海に打ち捨ててまで守るべきものなど、一体何処に何があったのだ。さて、紙一重という主題にもどって、開戦から敗戦までを考えてみよう。



白木蓮咲く

昭和十六年十二月八日未明に、日本は真珠湾の米海軍基地を攻撃、もはや後もどりの出来ない道へ踏み込んだ。一方、殆ど同じ頃に同盟国ドイツ第三帝国のモスクワ攻略戦が、冬將軍に阻まれモスクワ寸前で頓挫し、ついに全軍がぼろぼろになって退却を始めるのである。もし、常勝ドイツの初めての敗退という驚くべき情報があると少々早く正確に日本にとどいていたら、日本政府も陸海軍首脳も対米開戦を思いとどまっていたのではないかという説が、戦後の検証から浮かび上がっている。昭和天皇をはじめ対米開戦に否定的な人たちと、血気盛んな若手將校たちに担がれる主戦派との力関係が、実は紙一重の差だったということであろう。説としては頷けるが、紙一重ならどうして無謀な開戦を、命がけで食いとめてくれなかったのだという思いは消えない。

下って昭和二十年八月十五日、私は旧制中学生として大連市にいた。すでにソ連の重戦車が指呼の間にせまっていたから、あと数日日本の降伏がおそかったら、軍事教練もうけていた私たち中学生は少年兵としてソ連軍に立ち向かう筈だったという。そんな馬鹿な、キャタピラに踏み潰されるだけではないか。各地の日本軍の降伏と武装解除は概ね整然と行なわれたそうだが、それにはラジオから海を越えて流れた陛下の玉音の果たされたお力が、極めて大きいのである。ところが東京では、この放送を阻止して本土決戦に持ち込もうとする青年將校の団が、宮内庁を襲撃して放送録音を奪取しようとしたのであった。近衛師団長の殺害にまで至ったが、企みは紙一重で失敗したのである。

二十世紀の私たちは、多くを知らぬまま生と死を分ける追分を次々に通って来た。では二十一世紀の私たちが通らなければならぬ紙一重とは、どのようなものであろうか。

EU（欧州連合）は、繰り返される大戦と虐殺に終止符を打ち域内の人々の交流と連帯と平和を目指して生まれたと、私は学んだ。生みの親は、奥大利伯爵リヒャルト・クーデンホーフ、実は東京の生まれ、その母はミッコ即ち日本人であった。詳しく述べる紙面はないが、クーデンホーフはヒトラーの追跡を逃れて生き

のび、汎ヨーロッパ連合を提唱しつづけたのである。嗚呼、英国は先ごろあつさりこのEUからの離脱を決めた。メディアの論評を聞いていると殆どは、株価が下がるだの、貿易がどうだの、わからないではないが経済的視点ばかりである。私の知る限りではパックス（パトリック・ハーラン氏）がただひとり、「EUは人々が仲良く交流することで再び大戦争が起きないよう生まれたものじゃないの」と述べた。以来私はパックスを尊敬している。ナシヨナリズムが高まり、極右勢力が伸長する欧州を見ていると、恰も一九三〇年代が装いを変えて再来した如くである。追いつきをかけるように、際物師ともいべきトランプ閣下が米国に出現、プーチンのユーラシアニズムがアジアを窺っている。私たちの社会福祉は、平和な世が前提だ。歴史を学び未来への洞察力を高めようではないか。「愚者は経験に学び賢者は歴史に学ぶ」というビスマルクの格言もある。

〔前・三重県社会福祉協議会会長〕

老人デイサービスセンター なしのき



ご利用者がしめ縄を作ってくださいました。

小さい時はお正月前になると、お爺さんやお婆さんに教えてもらって、何個も作らされたわ

老人施設の年末年始

よいしょ〜

盲養護老人ホーム 梨ノ木園



よい年になりますように

カルタ取りなんて久しぶり



特設の神社で初詣



特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

第16回 往古梨まつり開催 2016/11/3



迫力満点 伊賀琉真太鼓の皆さんによる演奏



にっこり笑顔で
はいチーズ!



ああ高校3年生♪



中部盲導犬協会
盲導犬の実演

ご来賓、ご家族、ボランティア、地域の皆さまなど、多くの方々にご協力いただき、成功裏に終わりました。ありがとうございました。

一緒に点字を

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

長田小学校4年生が、点字学習の一環で来園されました。自己紹介をし合った後、ご利用者が児童の名前を点字で書きました。みなさんは、一文字一文字を指でなぞり、点字表で確認しながら、一生懸命に読んでいました。次に、ご利用者が先生となり、児童のみなさんが、点字に挑戦しました。



先生、見てください

「ちゃんと打っているよ、すごいね」と褒めてもらって、嬉しそうでした。なかには『ありがとう』と書いてくれた子がおり、それを読んだご利用者からは、自然と笑みがこぼれました。実りある楽しい交流になりました。

友遊旅行

身体障害者支援施設 梨丘園

大阪エキスポシティにある、生きているミュージアム「ニフレル」に行きました。

色とりどりの珍しい魚に、みなさんは興味津々の様子でした。



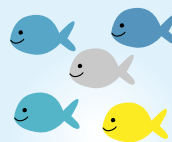
うわあ、大きい



くすぐったいよ〜



水玉模様や、変わってるな



いただきますーす

— 美容と健康に根菜料理 —

寒い冬から暖かい春への季節の変わり目は、身体に負担がかかりやすい時期です。冷えを感じやすいこの季節は、身体を内側から温める食事を摂ることが大切です。

そこでお勧めなのが「だいこん」「ごぼう」「にんじん」などの、食物繊維やビタミンを多く含んだ根菜類です。なかでも「生姜」は免疫力強化や体内浄化の作用があるため、風邪の予防と治療に効果があります。

給食にも筑前煮やきんぴらごぼうなど、根菜類を豊富に取り入れたメニューを提供し、ご利用者の健康管理に努めています。(第一梨ノ木園 栄養士)



子どもの思いを絵画に…



3～5歳児の絵画915点の中から親子で自分の絵を見つけ、絵の前で記念写真を撮るなど、家族で子どもの成長を感じていたようです。



あそびのひろば



空気・光・静電気・磁力等を利用したあそびのコーナーでは、「不思議だな」「なぜだろう」という科学への関心が芽生え、楽しめたようです。



第31回子どもフェスティバル開催 ～のぞいてみよう ふしぎなせかい～

2016
11/5

多くの親子や家族、関係機関や地域の方々にご来場いただき賑わい、子どもたちの成長を理解していただく場になりました。

ステージパフォーマンス



ボランティアの皆様ありがとう



赤ちゃんひろば 子どもと保健コーナー

育児相談や身体測定のために多くの方が来場されました。



子どもと食事コーナー

遊びながら「食」の大切さを体験しました。



放課後等デイサービス事業所

「ヴェルデドウ」

発達に気になるところがある小学生を対象とした「ヴェルデドウ」を開所し、もうすぐ1年を迎えます。

安心して過ごせる場所を提供し、子どもたちが生活を営むために必要なスキルが身につくように支援をしています。

一人一人の発達や状況に応じた個別支援計画を基に、指導員や言語聴覚士、理学療法士が個別療育や小集団療育を行います。発達を促しています。



背中を伸ばしてみよう



倒れないようにそーっと



"防火の誓い"で火の用心



いくらになるのか計算中

しめ縄作りにも挑戦
地域交流「友生に」にSUN

友生保育園

今回の交流は、しめ縄作りをしました。初めに、住民自治協議会長さんからしめ縄の由来や作り方を教えてもらいました。地域の方に手伝ってもらい、一束になったわらを三つに分けました。「ちくちくするよ」「こっち持つといてや」「ねじってもどつてくるよ」と苦心しながら縋っていききました。最後に、紙垂を作り、縄に差し込んで完成。お正月には、子どもたちが作ったしめ縄が自宅を飾りました。



離すとほどけるよ

幼年消防クラブ結成式

約束します火の用心

11月30日、新消防庁舎において、三田、予野、古山保育園の4、5歳児41名が幼年消防クラブ結成式に参加しました。子どもたちは、防火被を着て"防火の誓い"を元気に言いました。その後、庁舎内を見学。初めて見る最新設備を備えた「指令センター室」に興味を示し、「かっこいいなあ」「テレビがいっぱい」とガラス越しに見入っていました。放水車、はしご車なども見せていただき、貴重な体験ができました。



レスキュー車両に興味津々の子どもたち

『健康体操教室』で心身を癒してみませんか

伊賀市盲人ホーム

【開催日】偶数月 第4土曜日
 【時間】13時30分～15時
 【講師】木下美佐子先生（鍼灸師・健康体操指導員）
 【場所】伊賀市盲人ホーム（上野寺町1184-3）
 【電話】0595-23-1511
 平成29年度第1回目の開催は4月22日です。
 お気軽にご参加ください。



宇宙ってどんなの!?

名古屋科学館のプラネタリウムに行きました。
 宇宙誕生の大爆発は、迫力満点でした。「なかなか出来ひん体験やったなあ」「星って本当はあんなにたくさんあるんやなあ」と、思い出に残る、宇宙の旅になったようです。

楽しいバス旅行

かしの木ひろば

触読訓練に取り組んでいます

上野点字図書館

30万人の視覚障がい者のうち、人生の途中で視覚に障がいを負った方はその半数を超えており、高齢化社会が進む中、その数は増加傾向にあります。

人間に必要な情報の80%を視覚から得ると言われており、見えなくなる、見えにくくなることで受ける心の葛藤は計り知れないものがあります。

視覚障がい者の重要なコミュニケーションツールである点字を指で触って読めるよう、上野点字図書館では中途視覚障がい者の方への支援を、これからもずっと続けていきます。



これは、何と読むのかな?

耳で観る映画

「シネマ・デイズ」

上野点字図書館

近年、視覚に障がいのある方が映画を楽しめる「シネマ・デイズ」が人気を集めています。一般に映画は観るもので、目が見えない、見えにくい方にとって映画を楽しむことは難しいと考えられていました。しかし、この「シネマ・デイズ」は、1枚のCDに映画の主音声と場面の情景などを副音声で収録しており、新しい映画の楽しみ方として広まっています。

【お問い合わせ】
 ☎0595・23・1144



ドキドキで出発!

— 移動支援事業 —

かしの木ひろば

「電車で出かけた」とのMさんご希望で、外出を計画しました。ご自分で、目的によって行き先を決め、乗り継ぎ時間やルートはパソコンを使って検索されました。

当日は、天気が良く、車いすでの移動は駅員さんの協力もいただき、楽しい外出になりました。

「今度は名古屋や大阪にも行ってみたい」「ヘルパーさんと出かける時間ももっと欲しい」と期待をふくらませています。



いざ奈良へ!



まずは、ここまでやな



◆ご支援ご協力いただいている方々◆

(平成 28年 7月～平成 29年 2月)

《個人》 — 敬称略・五十音順 —

- 東 ひさ子、五百田泰建紀、石山 淑子、伊藤 利史、稲垣紀代子、稲森千鶴子、稲森 光子、稲森 律子、井上 操、上田真美子、上野 庸、上林 修平、岡田 浩子、岡田 充恵、岡森 彰彦、岡森眞理子、奥村 美恵、小田千恵美、貝増 優子、勝 真由美、勝島眞佐子、門田 進、小村 倫子、川合 弘美、北原 優子、木下真砂子、木村都美子、葛岡エミ子、上谷 宗吾、権蛇 忠喜、佐々木聖子、志野 文男、清水 栄子、清水 公人、清水みどり、庄山 愛子、城本 隆子、角田 充代、田中美代子、谷本 洋、田山紗知子、塚本 初子、津田 美恵、寺村 寿夫、戸上 宗賢、豊岡 百子、豊田 實、豊田 礼子、中村 俊通、中川 定子、中川 甫、中島 慎二、長谷 優樹、中村 節子、西出健一郎、西出 成子、東田 準子、比澤 茂、平嶋さやか、福田 定子、藤井 充子、藤永 清信、藤林 政代、藤森 直美、古川喜代子、古川 節郎、古川 益宏、堀池 克昌、堀池 良一、前川 悟、松岡 秀行、松田 雅子、松永 清、松永 伸、松本 栄子、松本 幸治、水野 寛子、水野 文子、水船敬太郎、南 久子、南出 恒久、宮田 琴代、百北富美子、百北 幸雄、百南 實、森 令子、森井久美子、森岡 佑子、森下 弘子、森田 満枝、森中 一美、矢口キ又代、山口 義美、山崎 和憲、山本 君子

《団体》 — 敬称略・順不同 —

- 上野点訳奉仕グループあい、上野音訳グループしびのび、名張点訳グループあかり、名張音訳グループこたま、上野点訳図書朗読ボランティア、ボランティアグループミックスジュース、絵手紙いろは、絵本ボランティア「もこもこ」、声のポスト友の会、コーラスグループサラダ、蕉門ホール「語り部塾」、人形劇クラブマンマミータ、にんじんクラブ、はあと&はあと、花てまり、三田コーラス、伊賀FC、伊賀上野ライオンズクラブ、伊賀北ライオンズクラブ、伊賀市視覚障害者福祉会、伊賀市更生保護女性の会、上野手をつなぐ育成会、旧小田小学校、煌星俳句会、日本テレビ小鳩文化事業団、岡波看護専門学校、あけぼの学園高等学校、伊賀白鳳高等学校、上野高等学校、長田小学校、印代地区、大海地区、桂地区、朝屋地区、治田地区、予野地区、明日が楽しみな里づくり委員会、伊賀市民生委員児童委員連合会、上野桑町自治会、上野東部地区老人クラブ連合会、大内環境保全会、大野木環境保全会、大野木ゆうゆうクラブ、小田町住民自治協議会、神戸老人クラブ連合会、神戸老人クラブ連合会女性部、木根団地自治会、朝屋老人クラブ、寺町ふれあいいきいきサロン、寺町老人会、東部地区民生委員児童委員協議会、友生地区住民自治協議会、友生老人クラブ、中瀬老人クラブ、長田地区住民自治協議会、西三田100円サロンふれあい、花之木社会福祉協議会、花之木住民自治協議会、古山地区住民自治協議会、三田地区住民自治協議会、緑ヶ丘本町いきいきサロンひまわり会、緑ヶ丘本町老人クラブ、ゆめが丘地区民生委員児童委員、ゆめが丘地区有志の皆様安立寺、西蓮寺、常任寺、田守神社、平井神社、青山福祉会、グリーンセンター福祉会、こつこう苑、名張育成会、ひとみ園、伊賀上野ケーブルテレビ、伊賀北部農業協同組合、今岡米穀店、上野ガス、小川整備、奥田理容店、金谷、キタモリ、欣栄堂、甲野屋、サンシヨク、JA花之木ふれあい店、志摩すし店、親和工務店、鶴岡、トヨタL&F中部、NAC、鍋本商店、西尾フランキ、はつぴーふぁーむ朝屋、廣島自動車商会、福田豊工務店、マルソウ、村脇電気、名阪設備工業、米岡家具センター

— 公益的な取り組み — お買い物無料送迎バス運行中

当法人周辺は、公共交通機関の利便性が低い地域で、不便を感じている高齢者が多くおられます。少しでも快適に生活できるようお手伝いできればと、市街地のスーパーまでバスを運行しています。

「欲しいものを買に行けるようになったわ」「大きいものを買っても大丈夫」と、週に1回の買い物を楽しみにしてくださっています。

地域で安心して暮らしていただけるよう、サポートの幅を広げていきたいと考えています。



今日もいろいろ買ってきたよ

平成28年度表彰及び感謝状受賞者

厚生労働大臣表彰

在宅介護支援センターなしのきセンター長 楠原久美子

厚生労働大臣感謝状

曙保育園 園長 佐田 恵子

全国社会福祉協議会会長表彰

睦保育園 園長 中森知恵子

三重県知事表彰

盲養護老人ホーム梨ノ木園 副園長 稲森 由香
老人デイサービスセンターなしのき 統括主任 川口 純子
調理員

編集後記

昨年末、「上野天神祭のダンジリ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、地域の宝が世界の宝になりました。先人から引き継がれた伊賀の文化や歴史など、その魅力を国内外に発信できることになりました。「誇れる伊賀市」として、より磨きがかかるのではないのでしょうか。

当法人の福祉事業も地域の皆様と共に、地域の中の社会福祉法人として、それぞれの分野で努力してまいりたいと思います。

さて、新しく「会報2017」を発行することができました。これも、皆様方のご支援ご協力のおかげです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(編集子S)

地域のニーズに応じた施設を運営しています



曙保育園



睦保育園



三田保育園



中瀬城東保育園



友生保育園



花之木保育園



予野保育園



長田保育園



古山保育園



みどり保育園

心身障害児療育保育施設
かしのみ園
日中一時支援事業所
ヴェルデ
放課後等デイサービス事業所
ヴェルデドゥ



ひかり保育園



みどり第二保育園



府中保育園



ゆめが丘保育所



放課後児童クラブ
キッズうえの



放課後児童クラブ
ふたば



放課後児童クラブ
成和東



放課後児童クラブ
成和西



放課後児童クラブ
フレンズうえの



放課後児童クラブ
第2フレンズうえの



放課後児童クラブ
風の丘



放課後児童クラブ
第2風の丘



上野点字図書館



伊賀市盲人ホーム



生活介護事業所
就労継続支援B型事業所
居宅介護事業所
行動・同行支援事業所
訪問介護事業所
かしの木ひろば



盲養護老人ホーム
梨ノ木園
訪問介護事業所
なしのき



特別養護老人ホーム
第二梨ノ木園



在宅介護支援センター
なしのき
身体障害者支援施設
梨丘園
特定相談支援事業所
梨丘
障害児相談支援事業所
ヴェルデ



老人デイサービスセンター
なしのき
法人本部事務局



梨ノ木診療所



社会福祉法人
伊賀市社会事業協会
igashi-shakaijigyokuyoukai

TEL.0595-21-5545

〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739-2
FAX.0595-23-6670

www.iga-sjk.or.jp/



伊賀市社会事業協会

検索

社会福祉法人 伊賀市社会事業協会は、1948年（昭和23年）、有志の民間人らが相寄って発足させた、上野市社会事業協会が原点です。皆様のご支援ご協力のおかげで、まもなく69年目を迎えます。